

委員会活動報告書

委員長名 山口 忍

【委員会名】 研修委員会	
【メンバー】 ◎山口 忍(茨城県立医療大学)、○野尻由香(国際福祉医療大学)、¥長澤 ゆかり(国際医療福祉大学)、荒木田美香子(川崎市立看護大学)、川南 公代(武蔵野大学)、藤本 優子(大分県立看護科学大学)、三橋美和(同志社女子大学)、 夏季研修担当ブロック理事:九州ブロック理事 尾形由紀子(福岡県立大学) 北海道、東北ブロック理事 菅原 京子(山形県立保健医療大学) 研修委員会担当副会長:鈴木美和(三育学院大学)	
50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. オンライン開催による夏季教員研修会開催に向けた体制整備を図る。 2. 春季研修は理事会開催、夏季研修は九州ブロックと協働開催、ラダー I 研修は研修委員会開催、秋季研修は理事会企画で公衆衛生学会開催地(山梨県)の大学等が実行委員となり協働開催とする。 3. ラダー I 研修の評価とニーズに基づいたプログラム展開の整備を図る。	
2022(令和4)年度	
達成目標	1. オンライン開催のメリットを生かした夏季教員研修を開催し、公衆衛生看護教育向上に向けた参加者間の有意義な交流を図る。 2. ラダー I 研修修了生の成果調査の検討と修了生による活動の組織化を図る。 3. 第3期生のラダー I 研修の実施と研修の発展性を見通した見直しを図る。
活動報告	1. 2022年度の研修会について (1) 春季研修会(理事会企画)は、2022年6月4日(土)オンラインで開催した。 (2) 第37回 全国保健師教育機関協議会 夏季教員研修会は、8月20日(土)テーマ「住民とともにある公衆衛生看護の技術の構築～教育で伝承する内容～」でオンライン開催した。午前中はワークショップ「公衆衛生看護学の技術項目とその内容の抽出」を教育課程委員会主催で実施し279名の参加があった。教育講演「学生の考える力を育む教育方法」は七木田文彦先生によるオンデマンド配信を実施した。分科会は3分科会を実施した。 (3) 第10回秋季研修会(理事会企画) 2022年10月10日(月)ハイブリット開催(山梨県甲府市)、テーマ「新型コロナウイルス感染症への対応から、今、現場に必要とされる保健師の技術とは」で、山梨県富士東部保健所地域保健課、健康科学大学看護学部、東京医科大学看護学科との協働で実施した。 2. 第3期公衆衛生看護学を教授する教員(ラダー I)研修について (1) 第3期ラダー I 研修を8月18日(木)19日(金)オンライン、2023年3月24日(金)東京 日本教育会館で実施した。3期生は23名が修了書を授与した。 (2) ラダー I 研修時に受講生間のネットワーク構築に向けて、修了生の会(つなぐ会)の説明を行いメンバーを募った。つなぐ会としては、R3年度と4年度に公衆衛生看護学会でのワークショップを開催した。 (3) e-learningの検討については次年度以降準備を進めることになった。